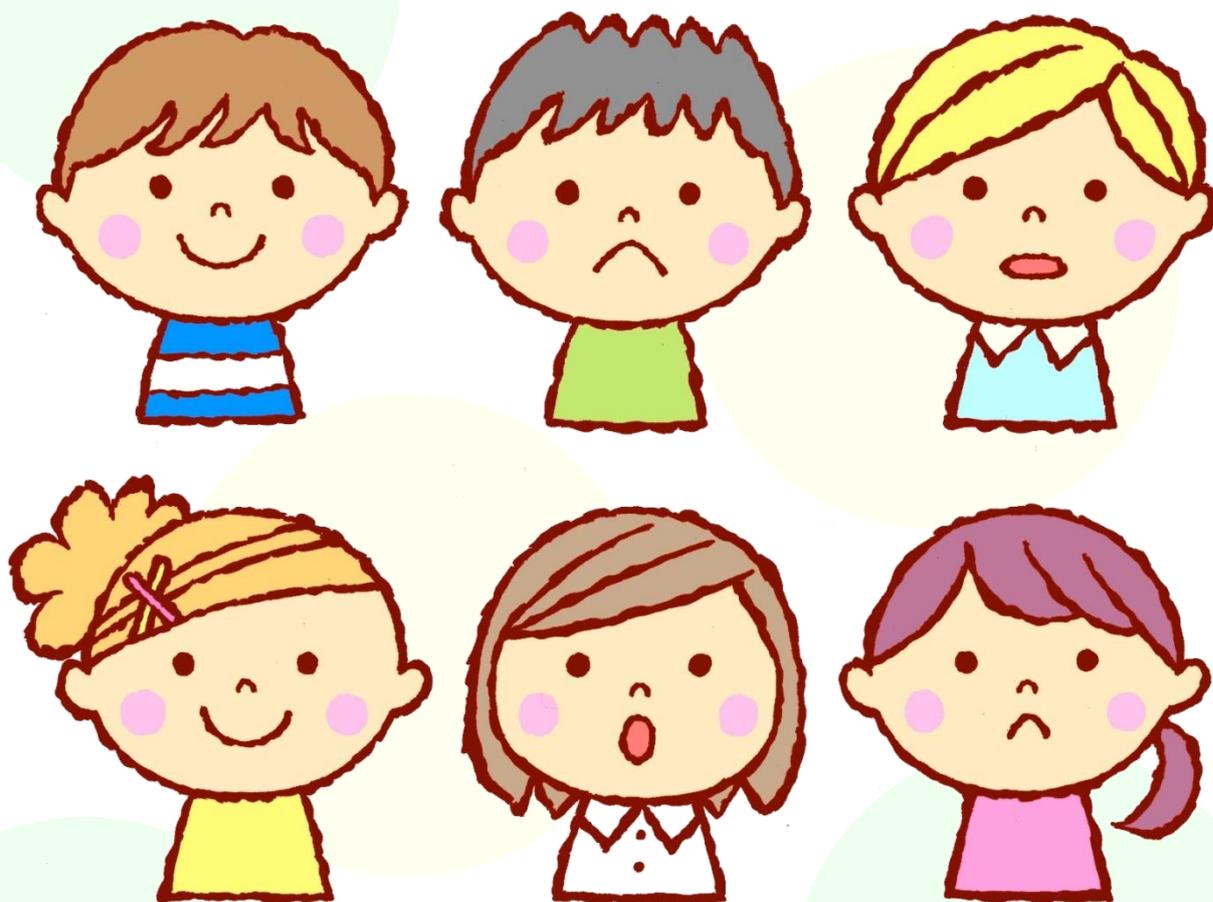


第3回 子ども支援セミナー

—子どもの「個」の理解と大人の関わり—



日時：平成26年8月22日（金）10：00～15：00

受付：9：30～

場所：関西福祉大学 2号館 A100教室 他

共催：関西福祉大学・兵庫県立赤穂特別支援学校・赤穂市教育委員会

スクールバスを運行しています

【JR 播州赤穂駅 ⇄ 関西福祉大学】

ご来学の際には、スクールバスをどうぞご利用くださいませ。

☆ 所要時間：約8分 ☆ 運賃：無料

☆ 乗車口：行き 播州赤穂駅南口3番乗り場 帰り 関西福祉大学 ロータリー

行き 播州赤穂駅発 → 関西福祉大学着					
8:48	9:50	10:15	10:50	12:10	12:40
帰り 関西福祉大学発 → 播州赤穂駅着					
12:24	12:54	13:50	15:00	15:15	15:45

お申込み方法

①QRコード ②FAX ③電話

いずれかの方法でお申し込みいただけます。

参加費：無料

駐車場：あり（できるだけ公共交通機関をご利用ください。）



お申込み・連絡先

関西福祉大学 附属地域センター

兵庫県赤穂市新田 380-3

電話：0791-46-2508 FAX：0791-46-2537

E-mail：yagi@kusw.ac.jp

担当者：八木 修司・作本 美保子

みなさまのご参加をお待ちしております



FAX 申込書 ~ご記入後、このページをFAXしてください~

氏名	ふりがな		電話番号		
住所 ※簡単で結構です	市・町		職種 ※いずれかに○	教職員・施設関係者 高校生・その他	
参加内容	基調講演	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会
	※参加される講演に○をしてください				
お弁当 ※いずれかに○	お弁当（500円）を注文		する ・ しない		
ご質問 その他					
※他にもご参加者がおられる場合は、こちらの欄へ上記事項をご記入ください。					

午 前 の 部【10:00~12:00】

開会あいさつ【10:00~10:10】 関西福祉大学長 安井 秀作

基 調 講 演【10:10~12:00】

テーマ：「絵による子どもの理解とその支援」

講 師：大阪樟蔭女子大学大学院 高橋 依子

場所：2号館 A100 教室

絵には描いた人の心の内面が表れます。話された言葉だけでは分からない感情や悩みを、描かれた絵から理解できるのです。心の不安定な時、家族と気持ちが通じない時、自分でも原因が分からずに元気が出ない時、子どもたちは絵を通して語りかけてくれます。心理臨床や教育の現場では、樹木画や家族画などから子どもの心を理解しようとしています。絵を通して子どもの心を理解し、支援につなげていく方法について話したいと思います。

ランチタイム【12:00~13:00】

ご希望の方には、お弁当（500円）をご用意いたします（事前お申込みが必要）。

お弁当をご希望の方は、8月14日（木）までにお申し込みください。

周辺には飲食店やコンビニ等がございます。

③ご飲食は4号館食堂内をお願いいたします。

展 示 会【12:00~13:00】

お気軽にお立ち寄りください（受付横のホールで同時開催）。

☆関西福祉大学 社会福祉学部生 ゼミ報告

「発達障害をもつ子どもの支援と教育」「風景構成法 ー絵画療法の世界ー」など

☆スクール（学校）ソーシャルワーカー養成課程報告

「赤穂市内の中・小学校、アフタースクールなどの取り組み」

☆兵庫県立赤穂特別支援学校 教育実践報告

午 後 の 部【13:00~15:00】

ご興味のあるいずれかの分科会へご参加くださいませ。

第 1 分科会：「学校における子ども虐待予防

ー 学校で子どもの SOS を早期発見するポイント ー

講 師：関西福祉大学 社会福祉学部 八木 修司

アメニティホーム光都学園 高田 豊司

場 所：2号館 A113 教室

近年、児童相談所における子どもの虐待の相談対応件数は増加傾向にあり、社会として子ども達をいかに守り、育てていくかという課題が浮き彫りになってきています。そのような社会状況の中、学校は子どもやその保護者にとって最も身近な存在であり、その性質上、虐待を早期に発見しやすい機関であると言えます。また従来から学校が担ってきた児童・生徒への健全育成の役割は、虐待予防の観点からもますます重要となってきています。

以上のことから、本分科会では、学校における児童虐待の早期発見のためのポイントと対応、また、予防活動としてどのような取り組みが行えるかを考えていきます。

第2分科会：「学校不適應を未然に防ぐために

～不登校の子どもたちへの理解と支援をとおして考える～

講 師：関西福祉大学 発達教育学部 市橋 真奈美
兵庫県立神出学園 主任専門指導員 日野 秀俊

場 所：2号館 211 教室

本来、学校は子どもたちにとって「楽しい!」「行きたい!」と思わせる魅力がなければなりません。時に「しんどい・・・」「辛い」「行きたくない・・・」と子どもたちに感じさせている場合があります。また、学習や人間関係におけるつまずき等により、「不適應状態」に陥っていることもあるでしょう。私たち子どもを取り巻く大人は、子どもたちの学びの場である学校での「不適應」を未然に防ぎ、子どもたちの学びの機会と場を守ることが求められています。

寮生活をとおして、心理・生活面における支援を重視した不登校支援に取り組んでいる兵庫県立神出学園のスタッフとともに、不適應状態の子どもたちをよりよく理解する視点と具体的な支援方法について考えます。

第3分科会：「発達障害の理解と最近のトピックス」

講 師：京都教育大学 教育学部（小児神経医） 郷間 英世
関西福祉大学 看護学部 牛尾 禮子

場 所：2号館 215 教室

「発達障害とは」と聞かれてもその概念は、多義にわたるため、答えるのは非常に難しいです。しかし、彼らや彼らの保護者たちは、生活していく上で多くの困難に遭遇し、支援を必要としています。適切な支援を行うためには彼らの「世界」、「思い」を深く理解することが大切です。

この分科会では、次のような内容を企画しております。最初の1時間は、医学的な視点から発達障害や最近のトピックスについて講義を行い、発達障害についての理解を深めます。次に、当事者や皆様が抱えている問題・課題について話し合ひましょう。そこから、きっと支援の糸口が見つかると思います。

発達障害の子どもに関わるすべての方、関心のある方、是非ご参集下さい。

第4分科会：「LD等学習に困難を持つ子どもへの支援」

講 師：赤穂特別支援学校 大久保 圭子（企画者・話題提供者）
河本 恵津子（企画者・司会者）

相生市立中央小学校 名村 嘉将（話題提供者）

赤穂市立塩屋小学校 東 法子（話題提供者）

大和大学 教育学部 井上 和久（指定討論者）

場 所：2号館 217 教室

文科省の調査によれば小中学校の通常の学級に知的発達に遅れはないものの学習面で著しい困難を示す児童生徒が4.5%在籍するとされています。LD等学習に困難を持つ子どものつまずきの要因は多様で、一人ひとりの実態や発達特性に応じた指導が必要です。そこで通常の学級担任、通級指導担当、教育相談室の立場からの取組の発表を行うとともに、参加者の方々も交え意見交換を行いながら、ニーズに対応した支援の在り方について考えます。

教育全般に関わる方、保護者の皆様はじめ、関心のある方、ご参集ください。